

06 断水について



北海道千歳市からの給水支援

★最大課題は断水

今回の能登半島地震での最大の課題は断水でした。珠洲から内灘町の広範囲で断水が続いていました。市町段階での水道管工事は、令和6年4月4日には終了したようですが、青山彩光苑内の配管が破損して断水しているのです。地震直後はカロリーメイトと配給された水分だけでした。数日後には、朝食時間を遅くして、パンやクラッカーとコーヒー、牛乳などが提供されました。昼食と夕食は、普通の食事と変わらないくらいでしたが、断水のため食器を洗うことができず、使い捨て容器を使っていました。

七尾市内の水道は、ほとんど壊滅状態でしたが、七尾市が担当する水道管工事は4月に終了しました。しかし、私有地、青山彩光苑の敷地内の水道管はいつ復旧するのかは目処が立ちませんでした。そのため、4月まで入浴が出来ず、他の施設の入浴を利用したり、清拭で対応していました。5月から青山彩光苑内の1カ所の入浴設備の修理が終了し、週に2回の入浴が出来るようになりました。洗面、歯磨きは、6月初旬でもペットボトルの飲料水で軽く行っていました。

